

未来のまちづくりを共に考える

大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL

冬号(第15号) 2022年1月発行



NARA PREFECTURE

奈良県



巻頭インタビュー

奈良国立博物館 館長 井上 洋一さん

奈良県立美術館 館長 藪内 佐斗司さん

地域の人々と一緒に。
新たな二人の館長が「オール奈良」
で目指す文化振興と地域活性化



奈良国立博物館 館長 井上 洋一さん(左)
奈良県立美術館 館長 藪内佐斗司さん(右)

地域の人々と一緒に。 新たな二人の館長が 「オール奈良」で目指す 文化振興と地域活性化

奈良国立博物館
館長

いのうえ よういち
井上 洋一さん

奈良県立美術館
館長

やぶうち さとし
藪内 佐斗司さん

2021年4月、新たに館長として就任した奈良国立博物館の井上洋一氏と奈良県立美術館の藪内佐斗司氏。長年、東京国立博物館で勤め、関西に初めて住んだという井上館長と大阪出身で東京藝術大学勤務時代に「仏像調査」で何度も奈良を訪れたという藪内館長のお二人に奈良公園エリアの文化振興と周辺地域の活性化について伺いました。

館長として、あらためて 感じた奈良公園エリア の魅力

藪内 私は大阪生まれですから、奈良には子供の頃も来ており、大変親しく感じています。彫刻家、文化財保存修復家として、仏像に関する仕事に30年くらい従事しているのですが、しょっちゅう奈良に来てはいましたが、その頃は仏像以外を楽しみ余裕はなかったと思いますね。段々年を重ねるにつれて、仏像以外にも目が行くようになりました。奈良以外の人からすると「鹿が普通に街を歩いている」のは、本当に特殊なことですよ。鹿がビートルズみたいに横断歩道を渡っていたら、アビイ・ロードかと感動しますよね。

井上 鹿が主人公になって、それを周りが温かい目で見えていますよね。奈良時代の建造物が残っており、天平人のひとりになったかのように思わせてくれる歴史的、文化的な景観を楽しめるところは、全国広しといえど、他にないと思います。そういう歴史・文化的な風土がここに生きており、鹿

に象徴される自然的な景観もあわせ持ったこの複合的な地域が一番の魅力ではないでしょうか。

奈良にある文化施設の 魅力を活かす「オール 奈良」の精神

藪内 奈良国立博物館(以下、奈良博)の魅力や特色は、全国の国立博物館のなかでも別格のイメージを持ちますね。それは、年に1回『正倉院展』ができる奈良博のステータス。井上館長も着任されて、つくづく感じておられるのではないのでしょうか？

井上 本当にそうですね。

藪内 あともうひとつは『なら仏像館』。一級品の仏像がこれほど集約されて並んでいるのは、奈良博ならではだと思います。県立美術館(以下、県美)に関しては、2023年に開館50周年を迎えるので、歴史の長い施設です。皆さん案外ご存じないのですが、奈良には県立の文化施設がたくさんあるので、これからは、奈良博を含め、他の施設と連携しながら、「オール奈良」で文化振興を盛り上げていきたいなと思っています。



井上 「オール奈良」と仰おぼいしまし
たが、これだけ近いところにあつ
ても、これまで県立と国立の関係
性は少し距離があつた気がしま
す。(昨年、県美で開催された)『森

川杜園展(※1)』を拝見したとこ
ろ、杜園がおこなつた正倉院宝物
の模造事業も紹介されていまし
た。企画段階から藪内先生とお
話できていれば、『正倉院展』と

良い意味でコラボで
きたのでは? と思ひ
ます。この奈良公園エ
リアを中心として、今
後一緒におもしろい
ことができればいい
なと思つています。

藪内 私は昨年3月
まで東京藝術大学(以
下、藝大)におりました。
井上先生は、東京
国立博物館(以下、東
博)に。今みたいにな
ぐそばに居たんです
よね。だから、東博で
藝大との連携展をず
いぶんしていただ
い。そんなことを奈良
でこれからできれば
いいなと思つてね。
井上 そうですよ。な
が、藪内先生と先生
の研究室の皆さんに

ご協力をいただいて、仏像の制作
過程を作ってもらい、それを東博
の教育普及事業として、藝大の大
学院生が一般の方に説明するた
めの教育プログラムと一緒に作つ
たことがありますね。奈良博で
は地下の通路に仏像の作り方や
形式を展示していますが、もう少
し一般の方々の目に触れやすい
ようにして、藪内先生にもご協力
いただいて、もっと活用すべきで
はないかと思ひます。それと、我々
にとつて、奈良博は、やはり仏教
美術研究の中枢。特に、『なら仏
像館』では常時100軀もの仏像
が観られますが、こうした施設は、
日本唯一ですよ。単なる仏教美
術の聖地だけではない、本當の意
味で仏像彫刻の聖地。奈良博はそ
ういう施設だと思ひます。

文化振興から地域活性化へ、おもしろいと思へることを

藪内 奈良博を含め、奈良公園全
体を大きく日本の仏教美術の集
積地だと考えれば、大宮通りは参
道ですよ。その参道でご商売な
さっている方と、寺社が相互に響



奈良国立博物館地下通路

きあつて、お互いプラスになるよ
うに。そして、そこを訪れた方々
が思いつき楽しめる参道になつ
てほしいなと思ひますね。一緒
になつて盛り上がりようよつて。
井上 人間つて、おもしろいと
思つたところには、誰にすすめら
れなくても行きますよ。「ここに
行つたら何かおもしろい体験が
できるぞ」と老若男女にどうア
ピールしていくかが大切だと思
ひます。我々にできることのひ

とつとして、奈良博をもつと楽しんでもらう。昨年の『奈良博三味展』は、まさに今まで来なかった人に来てもらえた企画でした。奈良博では仏教美術以外の展覧会をやってはいけない雰囲気があります。それはいいかな？と思うんですけど、それを同展は、仏教美術作品だけではいよ、と良い意味で壊すきっかけになったと思います。私が一番嬉しかったのは、若い人たちが来てくれたこと。普段、奈良博の来館者は、60代70代が圧倒的です。その方々に頼り続けたいから、奈良博はジリ貧になってしまっています。（『奈良博三味展』で）若

い人やファミリー層が「奈良博、なんかおもしろいことをやり始めたな」と思ってくれたのでは？とにかく人が来てくれないと活性化は難しい。我々の立場で何かできるとすれば、「まじめに遊んで」「おもしろい」と思ってもらえる展覧会をもつと企画することだと思っています。

すべての年代が楽しめる地域へ、存在を知ってもらうことが大切

藪内 この奈良公園エリアは、「登大路」の名前のおり、山麓で傾斜地。だから、常に「起伏に富んだ地形を生かした周遊方法」と、それを逆手にとつて、「その地形

をいかに楽しんでもらうか」をみんな考えていかなければと思っ
ていますね。そのためには、高齢の方にも体の不自由な方にも優しい移動手段を最優先で考えないと。私が個人的に提唱したいのは、人力車の活用です。乗ると視点が高くなり、タクシーや歩いて見て回る風景と全然違って、ものすごく新鮮！「奈良モデルの

アシスト人力車」を開発すれば、おそらく、俵夫も増えて、利用料金も下がるだろうし、海外への輸出も視野に入るのでは？と思います。（人力車が）たくさん走れば、乗る人も増え、恥ずかしさや抵抗感がなくなつて、「これに乗るのが粹なこと」みたいに。
井上 なるほど、粹っていうのはいいですね。

藪内 そのためには、地元のご協力が無いと無理だと思うので、ぜひ前向きに皆さんで考えていただけたい。「鹿とともに人力車が走る奈良公園の風景」を海外にも発信すれば、みんな行ってみたいと思うのではないかな。

井上 私からは、少し精神的なことを。コロナ禍で人との接触が本当に減つてしまいましたが、逆に多くの方が人と人との絆の大切さ、他者を認めて想う心をあらためて認識したと思います。私は、こうした心を大きく育てるのが美術館であり、博物館だと思っています。美術館・博物館には、「人類の記憶が凝縮された文化遺産」が残されているわけですから、その文化遺産が、歴史、伝統、文

化、生きていくための様々な知恵、戦争の悲惨さや人間の愚かさ、そして平和の大切さなど、様々なことを私達に教えてくれるのです。美術館や博物館を通して得たこの豊かな心は、平和で自由な成熟社会を根底で支える哲学を創造する原動力になつていいると思えます。私は、こういうことをもつともっと一般の方々にアピールし、理解していただく必要があると思つています。その上で、なぜこの地域に奈良博や県美が必要なのか？なぜこの地が世界遺産になつたのか？もう一度皆さん



と一緒にしつかりと考え直す時期に来ているのかなと思います。あまりにも奈良の皆さんの生活の中に文化遺産が溶け込みすぎてしまつて、普段は意識されていないのかもしれませんが、地元の盛り上げがなければ、世界遺産になることはなかった訳です。ここには、すごく重要な哲学をしつかりと醸成する風土がある。そこを我々が刺激していくことによって、奈良が活性化していくといいなと思っています。

藪内 奈良の人たちは、『森川杜園』の作品や『なら仏像館』などがあまりにも身近すぎて、「こんなすごいものが奈良にはある」とが当たり前になつていっているのでないでしょうか。それに気づいて、もつと地元の人から全国に広めないと。そのために我々がどう刺激するのが一番難しいかもしれませんね。

井上 『せんとくん』に倣つたわけではありませんが、昨年の夏に、奈良博の公式キャラクター『さんまいず』がデビューしました。奈良博だけでなく、何においても言えることですが、皆さんに親しみ



なら仏像館

を感じさせるものがキーワードになると思います。まずは(奈良にあるものの)「存在を知つてもらうこと」が必要なんですね。その後内容も知つてもらおう。

文化で「まち」を盛り上げる両館のこれから

藪内 そういう意味も含め、県美

では、2月に『所蔵名品展』をおこないます。こんなものがあつたのかと県美の新しい面を見ていただけるのではないかと思います。今後については、開館50周年を記念する企画や県民の方々にも県美をもつと身近に感じてもらう「ギャラリー」の開設などを検討しています。その他にも、地元の人たちと一緒に奈良を盛り上げる様々な企画をしていきたいら思っています。

井上 先ほど奈良博は、仏教美術だけではないと言いましたが、現在、『名画の殿堂 藤田美術館展(※2)』を開催しています。いつもの奈良博とはちよつと違う絵画作品を皆さんに観ていただけたら。そして2月には、国宝の十一面観音が来られる『聖林寺展』が開催されます。あらためて奈良にこんな素晴らしい仏像があることや、同展で感じる「神仏習合」が、奈良の根底に流れている思想的な背景であると多くの方に知っていただけたらと思つています。さらに、4月には、かつての奈良の大寺院である大安寺をCGで蘇らせようとクラウ

ドファンディングも取り込んで構成した『大安寺展』を予定しています。どうぞご期待下さい。

(※1) 幕末から明治にかけて活躍した奈良一刀彫の名人であり、彫刻家。古彫刻の模作や正倉院宝物の模造にも従事した。

(※2) 明治時代に活躍した大阪の実業家・藤田傳三郎(でんざぶろう)の蒐集(しゅうしゅう)作品を収蔵する美術館。2022年4月にリニューアルオープンするため、奈良博に収蔵品を寄託。会期は2022年1月23日(日)



奈良県立美術館外観

特別展 国宝 聖林寺十一面観音

―三輪山信仰のみほとけ

桜井市にある聖林寺の国宝十一面観音菩薩立像は天平彫刻の名品で、日本を代表する仏像のひとつです。法隆寺の国宝 地藏菩薩立像などととともに、江戸時代までは同市の大神神社に祀られていました。大神神社は本殿を持たず、三輪山を拝む自然信仰をいまに伝えますが、奈良時代以降は仏教の影響を受けて神社に付属する寺(大神寺、後に大御輪寺に改称)や仏像がつくられました。本展では、大御輪寺にあった仏像や、大神神社の自然信仰を示す三輪山禁足地の出土品などを展示します。十一面観音



国宝 十一面観音菩薩立像
(奈良 聖林寺)
写真:奈良国立博物館
(撮影:佐々木 香輔)

菩薩立像が奈良国立博物館で展示されるのは平成10(1998)年の特別展「天平」以来24年ぶりとなります。比類なき美しさを御覧ください。

【奈良国立博物館】

開催期間：令和4年2月5日(土)
～3月27日(日)
休館日：2月7日(月)・21日(火)
28日(月)、3月22日(火)
時間：9時30分～17時(土曜日は19時まで)
※入館は30分前まで
場 所：奈良国立博物館 東新館
問合せ先：☎050-5542-8600
(ハローダイヤル)
奈良国立博物館 で検索

企画展 奈良県立美術館所蔵名品展

奈良県美から始める展覧会遊覧

昭和44(1969)年に京都市在住の日本画家・風俗史研究家の吉川観方氏から奈良県にコレクション寄贈の申し出がありました。それを機に奈良県立美術館が設立されることになり、昭和48(1973)年3月に開館しました。

その後も化学博士・実業家の大橋嘉一氏や元東京教育大学教授の由良哲次氏など、数々の篤志家から貴重なコレクションの寄贈を受け、鎌倉時代から現代までの日本美術を中心に収集してきました。また、富本憲吉や田中一光など奈良出身の芸術家の作品も多数収蔵し、「奈良」という地域に軸足を置いた収集・展示活動は、当館の基本方針として現在まで変わりません。

本展では、日本の書画、洋画、彫刻、陶磁器、染織品、刀剣甲冑、浮世絵、ポスターデザインなど極めて多様な当館のコレクションを「寄贈者の好み」と「奈良ゆかりの美術」という視点から展示し、作品の魅力、そして奈良県立美術館の存在をより多くの方々に再発信いたします。

【奈良県立美術館】

開催期間：令和4年2月5日(土)
～3月27日(日)
休館日：月曜日(ただし3月7・14・21日は開館)
時間：9時～17時
※入館は30分前まで
場 所：奈良県立美術館
問合せ先：☎074-2123-3968
奈良県立美術館 で検索



曾我蕭白「美人図」
(由良コレクション)

「こんな公園がいい！」地域の皆さまの声 ～平城宮跡南側地区の整備～

平城宮跡南側地区（積水化学工業（株）跡地）の整備計画を検討するにあたり、都跡地区にお住まいの方々、地元都跡小学校4年生の児童の皆さんに、平城宮跡南側地区をどんな公園にしたいか、ご意見を伺いました。

都跡地区連合自治会 公園づくりワークショップ

11月4日には、都跡地域ふれあい会館において、22名の地元の皆さまにご参加いただき「平城宮跡歴史公園の良いところ・良くないところ」を洗い出し、それを踏まえて「南側地区をどんな公園にしたいか」をテーマに、4～5名のグループで話し合いました。



意見のまとめとして行われた発表では、子供向けの遊具や、憩い・休憩施設、また、イベントスペースや自然・花等のある公園にしたいといったご意見を多くいただきました。

都跡小学校4年生の「アイデア発表会」

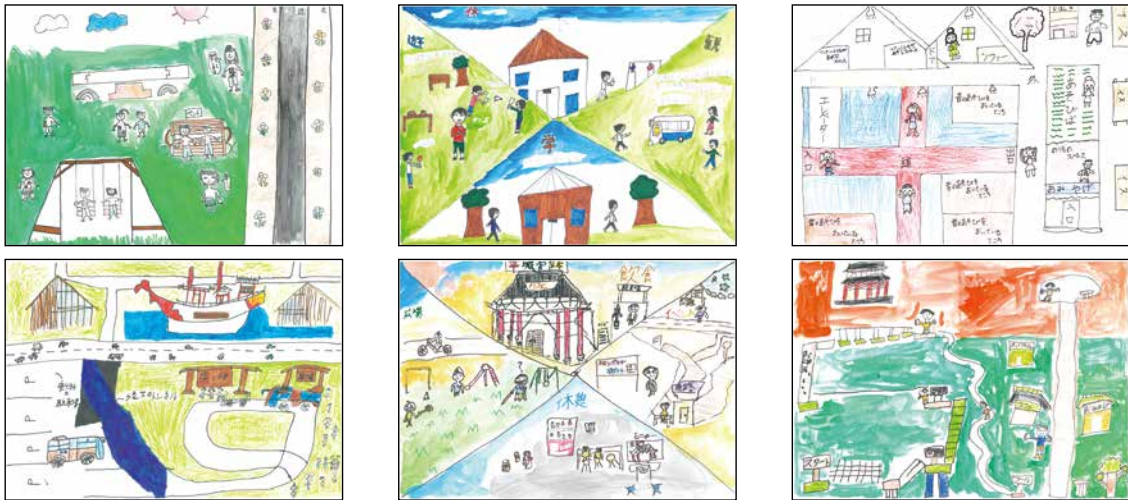
11月16日には、都跡小学校において、4年生の児童の皆さん93名に「平城宮跡歴史公園で、どんなことがしたいですか?」、「そのためには南側地区に何が必要ですか?」をテーマに、アイデアを絵に表現していただきました。

「家族みんなでくつろぎたい・遊びたい」、「平城宮跡を見渡せる高台の上に休憩場を作る」、「四神の形をした遊具など、子供が楽しめる場所がほしい」等、自由な発想のアイデアがたくさん集まりました。



アイデア発表会の様子

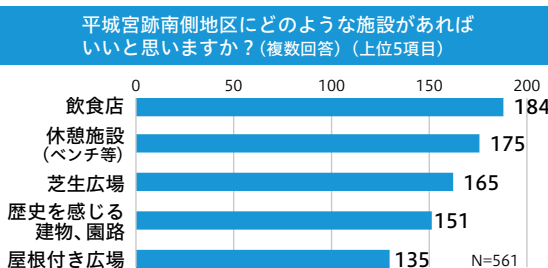
発表いただいた絵は、朱雀門ひろば天平うまし館にて、1月末まで展示しています。



都跡小学校4年生の児童がアイデアを表現した絵

WEBアンケートの実施

令和3年8月から10月にかけて、WEBアンケートを実施しました。南側地区整備に対するご要望などを伺い、561名の方にご回答いただきました。



整備計画策定に向けて

今回いただいた皆さまのお声をもとに、専門家の意見を聞きながら、令和4年度に整備計画を策定する予定です。多くのご意見をいただき、誠にありがとうございます。【平城宮跡事業推進室】

早春を告げる「若草山焼き行事」

古都奈良の伝統行事、若草山焼き行事を、1月22日(土)に開催します。

行事は、春日の大とんどより御神火をもらい受けることから始まります。聖火行列が山麓の野上神社まで御神火を運び、野上神社で山焼きの無事を祈願する祭礼が行われます。その後、一斉に点火され、若草山に広がる炎が夜空を赤く染め上げる様子は圧巻です。

また、点火直前に打ち上がる花火も見応えがあり、例年多くの方で賑わいを見せています。

今年の山焼きにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、例年山麓で開催していたイベントについては中



例年の若草山焼き行事の様子
(長時間露光により撮影したもので、実際の見え方とは異なります。)

止を決定し、山焼きを行う範囲は感染状況に応じて縮小します。

また、奈良公園内での観覧は、

事前登録(先着順)をいただいた方に限ることとします。登録できなかった方も、昨年ご好評いただいたライブ配信を実施しますので、ご自宅や離れた場所からお楽しみください。
なお、当日は会場周辺で通行規制が行われます。

若草山焼きの実施にあたっては、地元の皆さまをはじめ、多くの皆さまにご協力いただいております。若草山焼きを未来へつなげられるよう、安全に細心の注意を払い実施します。

【奈良公園室】

開催日時：令和4年1月22日(土)
開催時間：18時15分頃 一斉点火
会場：若草山一帯ほか
問合せ先：若草山焼き行事実行委員会
☎0742127-8677

若草山焼きで検索

※奈良公園内での観覧には、事前登録が必要です。登録方法や開催内容は、随時ホームページでお知らせします。

「しあわせ回廊なら瑠璃絵」

奈良公園を美しい瑠璃色で彩ります

今年で13回目を迎える「しあわせ

回廊なら瑠璃絵」を、2月8日(火)から14日(月)まで開催します。

今年は「希望の祈り」をテーマに、春日大社、興福寺、東大寺を幻想的な光の回廊でつなぎます。また、皆さまに「社寺を巡ってみたい」と思っていただけのように、新たなコンテンツも企画しております。ぜひふるってご参加ください！

そして、奈良春日野国際フォーラム^{いらちか} I・R・A・K・A におけるイルミネーションイベント「冬七夕ロード 願いの花たんざく」につきましても、人数制限を行う等新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、実施を予定しております。

それぞれの社寺を巡り、手を合わせていただいた皆さまにしあわせが訪れますよう、願いを込めて「しあわせ回廊なら瑠璃絵」を実施します。皆さまも新型コロナウィルス感染症対策を十分に実施し

た上でお越しくください。

【奈良公園室】

開催期間：令和4年2月8日(火)～14日(月)
時間：18時～21時(予定)
会場：春日大社・興福寺・東大寺ほか
問合せ先：なら瑠璃絵実行委員会
☎0742120-0214
なら瑠璃絵で検索
入場無料(飲食・一部イベントへの参加は有料)

なら瑠璃絵イルミネーション(浮雲園地)



奈良の魅力を集めた冬のイベント

第7回大立山まつりを開催します！

大立山まつり2022 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり

今年で7回目を迎える奈良の冬のイベント「大立山まつり」。今年の大立山まつりは令和4年1月22日(土)・23日(日)の2日間、奈良県コンベンションセンターと平城宮跡朱雀門ひろばにおいて開催します。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、会場での開催とともに、オンラインでも同時に開催し、ご自宅からも参加いただくことができます。

温かくておいしい食事・地域自慢の特産品の販売、伝統行事等のステージ、奈良の食文化と観光を深く知るシンポジウムに加え、奈良の魅力を体験できるバーチャルコンテンツなど、盛りだくさんの内容をご用意しております。



大立山を、奈良県コンベンションセンターに展示します。(写真はイメージです)



奈良時代の天皇の礼服・礼冠を朱雀門で披露します。

今年のおたてやまのまつりの見どころ

まつりが開催される2日間を通して県内の市町村がそれぞれの地域の特色を活かし、まつりや芸能、温かくておいしい絶品グルメや地域ならではの特産品等がイベントを盛り上げます。



また、例年ご好評いただいている奈良の魅力を語るトークショーや「壬申の乱1350年」をテーマにした展示、奈良の歴史や文化に関連したワークショップなども実施します。

そして、今年には奈良の歴史・伝統文化とデジタル技術を融合し、時代・場所・世代を超えて奈良の魅力を五感で体験できるバーチャルコンテンツが新たに登場します。

奈良にまつわる衣装のバーチャル試着体験などウィズコロナを意識したコンテンツをご用意しております。

まつりの詳細な内容については公式ホームページをご覧ください。大立山まつりを通して、奈良県の魅力に触れていただき、県内各地域に訪れるきっかけになればと考えています。皆さまのご来場をお待ちしております。

【ならの観光力向上課】

開催日時：令和4年1月22日(土)・23日(日)

時間：11時～18時

会場：奈良県コンベンションセンター・平城宮跡朱雀門ひろば

問合せ先：奈良県冬季誘客イベント「大立山まつり」実行委員会事務局
☎0742-271-8974

入場無料(飲食・体験等は一部有料)
近鉄新大宮駅より徒歩10分(公共交通機関でお越し下さい)

ツイッター、インスタグラム、フェイスブックでも情報発信中

ほぐほぐまつりで検索

ミュージックフェストなら2022

奈良の街中が 音楽であふれる22日間

今年で10回目の開催となる「ミュージックフェストなら」。県内の社寺等の歴史文化遺産や奈良県文化会館、奈良県コンベンションセンターなどを会場に、クラシックをはじめとした上質な音楽によるコンサートを開催します。

第10回記念公演を開催

今年も、世界遺産の社寺に著名なアーティストを迎え、第10回記念公演を実施します。また、奈良



奈良県コンベンションセンター



社寺コンサート

県コンベンションセンターでは、一日中、音楽と食を満喫できる企画として、クラシック、ジャズ、沖縄音楽など多様なジャンルの公演のほか、天平広場では、「プロースト！ミュージック」と題して、ドイツ料理やクラフトビールなどが楽しめる飲食スペースも展開します。ほかにも、NHKの人気キャラクターによるファミリー向け公演や、プロオーケストラによる本格的なコンサートなど、子どもから大人まで誰もが楽しめる多様なジャンルの企画を準備しております。是非、各会場に足を運んでいただき、上質な音楽の祭典をお楽しみください。

【文化振興課】

開催期間：令和4年5月15日(日)

～6月5日(日)

開催場所：社寺を中心に、奈良県文化会館、奈良県コンベンションセンターなど県内各地

問合せ先：ミュージックフェストなら

実行委員会事務局

☎0742-271-8917

ミュージックフェストなら

で検索

興福寺 国宝 五重塔 特別公開

来年度から約120年ぶりに大規模修理が予定されている五重塔が特別に公開されます。普段は閉じられている初層が開扉され、薬師如来像、釈迦如来像、阿弥陀如来像、弥勒如来像がそれぞれ左右に脇侍を従えた三尊像形式で合計十二躯を拝観することができます。公開後の大規模修理では素屋根で塔が覆われるため、着工前に初層内陣を拝観できる貴重な機会となります。ぜひご参拝ください。

【特別公開期間】

令和4年3月1日(火)～3月31日(木)



癒やしの「佐保路 三観音」を巡る

東大寺転害門から平城宮跡に向かって西へいくと「佐保路」と呼

ばれる地域があります。ここには歴史ある法華寺、海龍王寺、不退寺の3寺があり、それぞれ観音菩薩立像をお祀りしています。

法華寺の十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルと伝わる優美な姿、海龍王寺はきらびやかな装身具をまとった金泥の十二面観音菩薩立像、不退寺の聖観音菩薩立像は在原業平自作と伝わり、宝冠帯が大きく、リボンをつけた観音様と親しまれています。時代は異なりますが、それぞれに気品あふれる観音様です。ぜひこの機会にお参りください。【観光プロモーション課】



海龍王寺
十一面観音菩薩立像
写真：(株)飛鳥園

【特別開帳期間】

●不退寺

3月1日(火)～5月31日(火)

●法華寺

3月20日(日)～4月7日(木)

●海龍王寺

3月23日(水)～4月7日(木)

祈りの回廊で検索

冬の社寺特別開帳 情報が満載！ 「祈りの回廊」 パンフレット

県では、県内の社寺特別開帳情報をご紹介します「祈りの回廊」パンフレットを年2回発行しています。

現在発行中の秋冬版は、期間限定の特別開帳情報の他、社寺の巡り方をご提案する特集記事や社寺の方へのインタビュー記事など、他では得られない情報が満載です。

読み物としても楽しんでいただけるよう、聖徳太子とともに生きた女性たちや時代を動かした実業家・渋沢栄一の奈良ゆかりの地を紹介した特集ページも充実しています。

また「祈りの回廊アプリ」スマホで巡礼」を2月28日(月)まで開催(ダウンロード無料)。県内の霊場会・巡礼会や特集ページで紹介した地を巡り、アンケートに答えて応募すると、抽選でコースごとのオリジナルのクリアファイルをプレゼントいたします！

【観光プロモーション課】



〈パンフレット設置場所〉

県内の観光案内所・県内社寺・鉄道駅など

問合せ先：

奈良県観光プロモーション課
☎0742-27-8482
(平日8時30分～17時15分)

「祈りの回廊」で検索

大宮通りジャーナルマップ



イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
若草山焼き行事	1月22日(土)	若草山一帯ほか	若草山焼き行事実行委員会 ☎0742-27-8677	無料
大立山まつり2022 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり	1月22日(土)~1月23日(日)	奈良県コンベンションセンター及び 平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば	奈良県冬季誘客イベント 「大立山まつり」実行委員会 ☎0742-27-8974	無料 (一部有料)
特別展 国宝 聖林寺十一面観音 一三輪山信仰のみほとけ	2月5日(土)~3月27日(日)	奈良国立博物館 東新館	☎050-5542-8600 (ハローダイヤル)	有料
奈良県立美術館所蔵名品展 奈良県美から始める展覧会遊覧	2月5日(土)~3月27日(日)	奈良県立美術館	奈良県立美術館 ☎0742-23-3968	有料
しあわせ回廊なら瑠璃絵	2月8日(火)~14日(月)	春日大社・興福寺・東大寺ほか	なら瑠璃絵実行委員会 ☎0742-20-0214	入場無料 (一部有料)
平城京天平祭・春	5月上旬(予定)	平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	無料 (一部有料)
ムジークフェストなら2022	5月15日(日)~6月5日(日)	奈良県コンベンションセンターほか 県内各地	ムジークフェストなら実行委員会 ☎0742-27-8917	無料 (一部有料)

掲載されているイベントなどの内容は本ジャーナル発行時点のもので、今般の感染症の流行とそれに伴う社会情勢などを受け、開催が中止・延期・変更となる場合があります。それぞれの問い合わせ先へご確認ください。

「ぐるっとバス」ルートマップ 2021年12月時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響により、運行ダイヤを変更する可能性があります。

ぐるっとバスの乗降方法

- 各ルートバスの前扉から乗車
- 料金は100円前払い
- 目的地に到着したら後扉から降車

バス路線

- 奈良公園ルート
- 大宮通りルート
- 若草山麓ルート

乗車運賃

1乗車
100円
(小学生以上)

※「ぐるっとバス」の詳しい運行情報やルートについては、
〈HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」〉をご覧ください。
<http://www.nara-access-navi.com/>

ぐるっとバスNAVI
ぐるっとバスの位置情報がリアルタイムで確認できる

冬の彩り 大宮通りイルミネーション点灯

冬季に奈良県を訪れる観光客の「おもてなし」として今年度も実施しています。恒例の「冬の彩り」を楽しみください。【道路保全課】

点灯期間：令和3年11月24日(水)~令和4年3月14日(月)
点灯区間：国道369号(奈良中央郵便局前~高天交差点)



大宮通りジャーナル 冬号(第15号) 2022年1月発行

発行 奈良県 ●各事業に関するお問い合わせ

編集 県土マネジメント部地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室 Tel.0742-27-8973 奈良公園室 Tel.0742-27-8036

平城宮跡事業推進室 道路保全課 Tel.0742-27-7512 文化振興課 Tel.0742-27-8917

ならの観光力向上課 Tel.0742-27-8974 観光プロモーション課 Tel.0742-27-8482

観光振興と地域づくりのモデルとして各種プロジェクトが進行している「大宮通り」について、沿道の住民の皆さまや事業者等の関係者様と、課題をともに考え、意見を交換し、共有するためのプラットフォームとして本誌を発行・配布しています。